

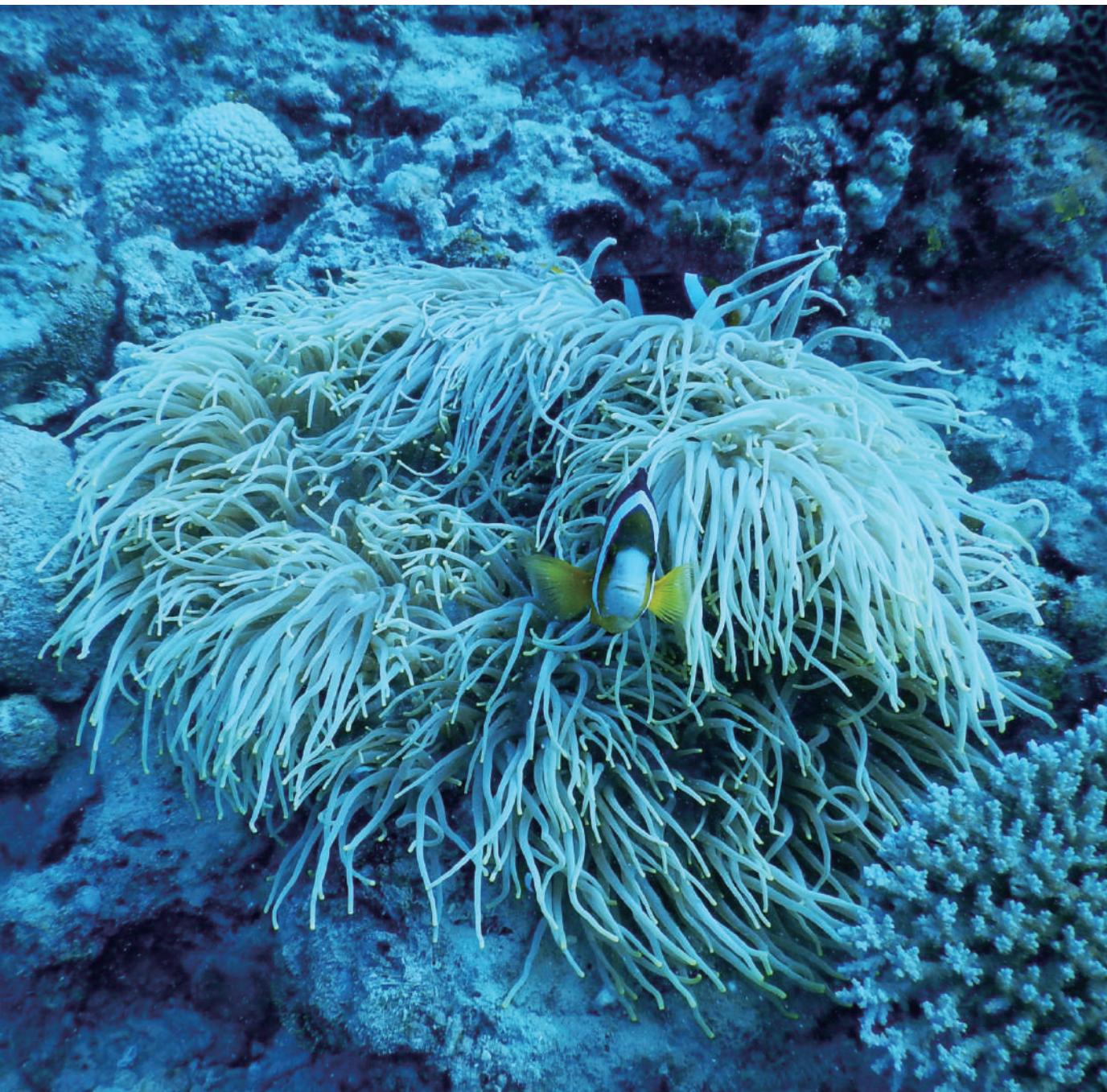
Access

医学生と鹿児島民医連の情報誌
2021 | Summer 67

特集

うがみんしょーらん～私たちと奄美ではたらいてみませんか？～
研修医の地域医療研修報告（奄美中央病院・徳之島診療所）
SDH（健康の社会的決定要因）を学習してみませんか？

鹿児島民医連の医療・介護 事業所紹介／病院実習案内／民医連企画紹介／OSCE学習会／
SNS・ホームページ紹介／鹿児島大学医系学生サポートセンター紹介／奨学金制度案内



うがみんしょーらん

～私たちと奄美ではたらいてみませんか？～

奄美大島は鹿児島本土と沖縄のちょうど中間に位置している離島で、人口6万人程度の面積も比較的大きな島です（佐渡島に次いで大きい島です）。とても自然豊かな島で『世界自然遺産』に登録される見通しどうっています。周囲はエメラルドグリーンの海で囲まれており、南国のイメージ



にぴったりです。一方で自然の影響を受けやすく、天候不良の際は航空機やフェリーが欠航するため、島内で生産しない牛乳などの物資が不足することもあります。

奄美の医療機関に勤めていて感じることは、幅広い年齢の患者さんを対象とし、医療だけでなく、住宅環境や介護、家族のこと等、いろいろな視点をもって対応しなければならないことです。また島内では治療が完結できないこともあります。しかししながら、沖縄に患者さんを搬送することもあります。しかしながら、大変さの中だからこそ出来る経験も多く、やりがいを感じています。

離島医療に触れてみたい！島ならではの明るくあたたかい人柄に触れたい！自然を堪能したい！と思いましたら、ぜひ一度病院見学にお越しください。



研修医の地域医療研修報告

峰松浩希医師より



奄美中央病院



奄美中央病院で一番印象的だったのは「athomeさ」。これに付きます。とにかく仲がよい。島が大好きで情愛に溢れています。皆が名前やニックネームで呼び合っていて、どこかで笑い声が聞こえます。

多職種カンファでは、いつの間にか主治医そっちのけで議論が交わされています。職種に関係なく皆が患者のことと思い、貪欲に学び、自分の意見を持って活発に意見を交換しています。医局朝礼では、夜間外来・夜間病棟対応・入院患者を医師全員で共有します。100床という規模だからこそできることではあります。

ですが、患者さんのためにも、それぞれの学びのためにも、貴重な場だと思います。新規入院患者がいれば、「誰々の息子さん」「あの往診の」「どこに住んでる」と、冗談抜きで皆が地域住民1人1人を把握していて、これこそ「地域に寄り添う病院」だなと思いました。

リハビリの重要性

高次脳機能障害の患者さんが、日を追うごとに目に見えて改善し、最終的に単語が喋れるようになりました。コミュニケーションの内容が変わつて

チーム医療

きて、毎日の訪室が楽しみでした。

リハビリに対するイメージ

ジが、今までには入院後や術後の廃用予防という認識だったのですが、「リハビリで治していく」という概念が新しく自分が生まれました。改善していく様を目の前で見て、無限の可能性を感じました。

【経験手技（奄美中央病院）】

1ヶ月と短い期間でしたが、たくさんの手技を経験しました。（消化器）上部消化器内視鏡の観察（呼吸器）気管支内視鏡の観察（循環器）心カテーテルスメーター（腎）PTA（経皮的血管形成術）（その他）胸水穿刺・トロツカーブ插入



徳之島診療所

訪問診察.. 在宅で最期を迎える 素晴らしい

「慣れ親しんだ環境で最期を迎える」いう感情は

人間として至極当たり前のことです。できるだけその意思是尊重すべきであり、そうできるように全力を尽くすべきです。より良い最期を迎えるられるよう、細やかな環境調整が大切だと学びました。介護で疲弊しているような家族もいらっしゃいましたが、それも患者への愛ゆえのことだと感じました。本人のケアはもちろんですが、家族のケアがとても重要だと感じました。在宅で我々にできることがとても重要だと感じました。

（医療行為）は限られています。病院ならまだしも在宅ではより浮き彫りになります。だからこそ「環境調整」「家族のケア」この2つに我々医療者は全力を尽すべきだと思いました。



前之園佳穂医師より

職種の垣根がないことが奄美中央病院の素敵
な所です。困った時もすぐに相談しやすい環境で、様々な経験を得ることができます。



中山万莉医師より

5月に奄美中央病院で、6月に徳之島診療所で研修を行いました。
診療所では外来と往診を中心に行いました。慣れない外来を周りの方々に支えて貢いながら1ヶ月みっちり行うのはとても勉強になりました。患者さんからの暖かい言葉にたくさんの元気を貰いました。

指導医も奮闘中!!
日本プライマリ・ケア連合学会の講習を受講し、福崎院長と平元副院長が（暫定）指導医の資格を取得しました。
今年度はほぼ1年間渡り切れ目なく初期研修医がやってくるので頑張ります！



忙しい診療の傍らオンライン講義とレポート作成で勝ち取った指導医資格に満面の笑みのお二人

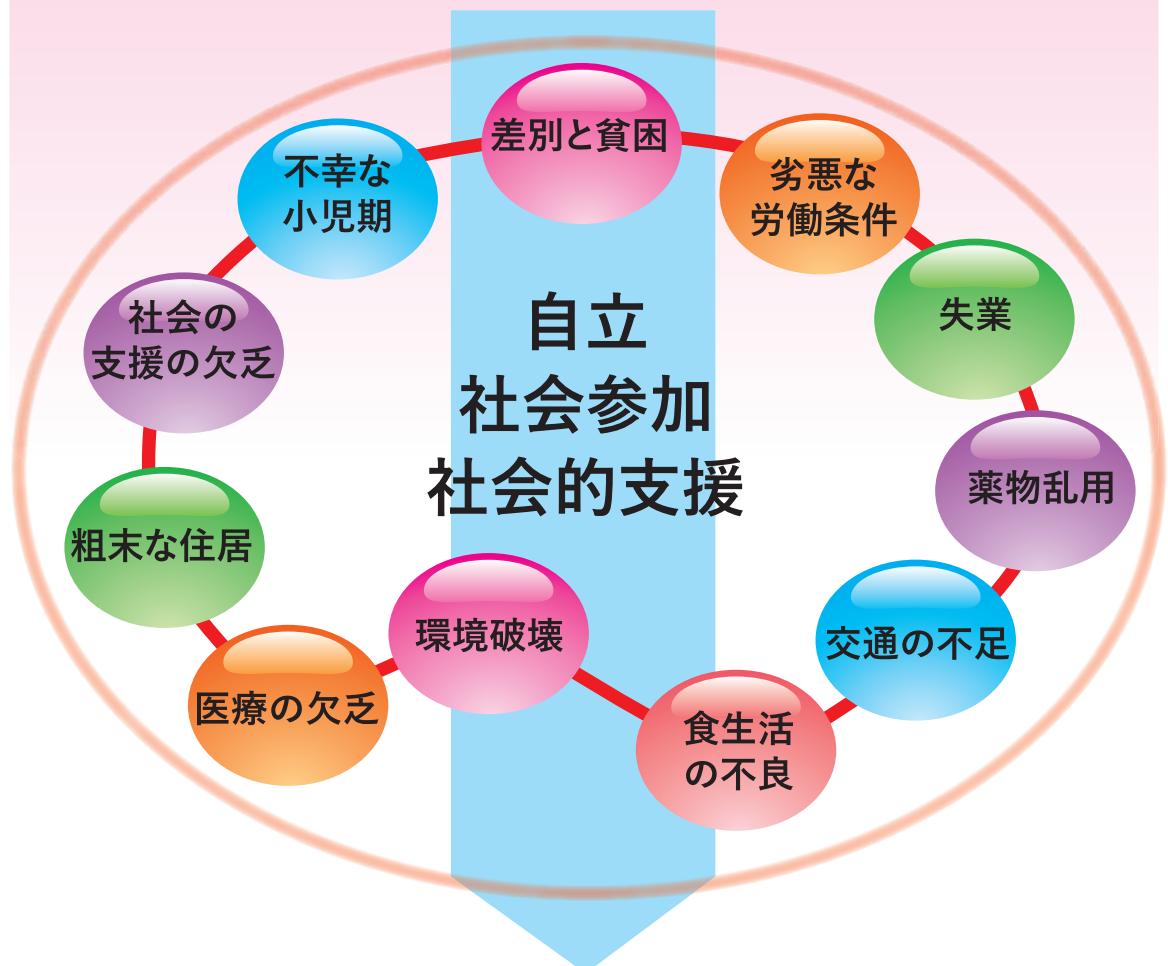
因)を学習してみませんか?

は自己責任などではなく、健康を決める主な原因はもっと別のところ、私たちが暮らす社会の中にあります。

生活に困窮しているため外来受診を控える糖尿病患者、抑うつ・自殺企図のリスクを抱える性的マイノリティの方々等、社会の様々な状況・要素が「健康」に影響し健康格差の原因となっていることをWHOは「SDH」と呼び、医療者に取り組みを求めていきます。それぞれの社会的決定要因が、人々の健康にどのように影響するか、みんなで学習してみませんか!?



社会的階層の勾配=社会格差



健康の勾配=健康格差



SDH(健康の社会的決定要因)



平成28年度改定版「医学教育モデル・コア・カリキュラム」で初めて「社会構造と健康・疾病との関係(SDH:健康の社会的決定要因)を概説できる」という学修目標が設定されました。しかしながら、まだまだ「SDH」の概念に触れたことがない医学生も多いのが現状ではないでしょうか。

「健康」は遺伝子や生活習慣など『生物学的要因』だけで決まるわけではありません。右下図のような多くの要因が関与しています。「健康」

ブックレット紹介 健康格差の原因－SDHを知ろう－



このブックレットの大きな目的は「健康の社会的決定要因」とは何かについて皆さんに知っていただくことです。

メタボリック・シンドローム、運動不足過食、喫煙、飲酒など個人の「生活習慣」が病気の原因でそれを改善する責任は個人にあるのだと多くの人が思い込まされています。これでは病気は自己責任だということになります。このブックレットは、健康は自己責任などではなく、健康を決める主な原因はもっと別のところ、つまり私たちが暮らす社会の中にあることを今日の研究の到達点に基づいて、なるべくわかりやすく、マンガやグラフを用いて説明しています。

もくじ

タクシー運転手に高血圧や心疾患が多いって本当?

- ▶ 健康の社会的決定要因とは
- ▶ 人間らしく働こう
- ▶ 今注目される孤立・排除とジェンダー
- ▶ 子ども時代に大切なものの
- ▶ 高齢期を輝かせるには
- ▶ 希望 コミュニティの持つ力

興味のある方は下記までご連絡ください

【お問い合わせ先】鹿児島民医連医学生担当 川添・脇・有菌・西田

TEL:099-266-1531 E-mail:igakusei@kagoshima-min.jp

新1年生から申込歓迎！

医療の現場に触れてみよう！病院実習

鹿児島民医連では、鹿児島生協病院や国分生協病院のほか、奄美・徳之島などの離島も含め、関連医療機関や施設で随時実習を受け入れています。一人ひとりのご要望に可能な限りお応えし、オーダーメイドの実習内容を設定できることが魅力です。研修医同行や、各診療科の実習はもちろん、医師以外の他職種実習も体験できます。午前または午後のみの実習から、当直も含め2日がかりの実習もできます。ご希望がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

◀ 実習でどんなことが学べるの？▶

医学科1～4年生の臨床実習前のみなさんへ

座学を中心に大学で学んでいる内容が、臨床の場でどのように繋がっているのか実際に体験して学ぶことができます。4年生後半になると臨床実習が始まりますが、その前に病院実習を経験しておくことで知識が確かなものになり、よりスムーズに臨床実習に入れるだけでなく、日々の座学や勉強の理解度、モチベーションも増すはずです。

また、実習に参加すれば、将来医師として働くイメージをより鮮明に持つことができ、将来の医師像を描くきっかけになることもあります。

離島実習カリキュラム例

1日目

午前 飛行機にて移動
外来・病棟見学

昼 昼食休憩

午後 訪問診療・
訪問看護同行



2日目

午前 医局朝礼参加
外来・病棟見学

昼 飛行機にて移動



医学科4～6年生の臨床実習後のみなさんへ

民医連では、患者の生活背景まで考え、多職種協働でよりよい医療を提供できるよう取り組んでいます。きっと大学の臨床実習だけでは体験できない、地域に密着した「プライマリ・ケア」を学ぶことができるはずです。また、研修病院を本格的に考え出す時期に入りますが、研修医同行実習ではどのような研修の特徴があるのか、病院の雰囲気も直接感じることができます。親切丁寧で熱心な指導医や、いきいきとした研修医の様子に触れてみてください。

研修医同行カリキュラム例

1日目

午前

8:00 病院医局集合
実習オリエンテーション
8:15 医局朝礼参加
8:30 朝カンファレンス
研修医同行
病棟処置見学

昼

12:30 昼食休憩

午後

14:00 救急外来見学
16:00 研修プログラム説明
17:00 午後終了

夜

22:30 深夜当直
(または準夜当直)

2日目

午前

8:15 医局朝礼参加
8:30 実習感想文記入後終了



実習の申込は
こちら！



4～6年生は実習に係る交通費・宿泊費の補助があります。2日以上の実習をされる方、将来の初期研修先として鹿児島生協病院が候補であることが条件となります。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実習場所や内容に制限を行うことがあります。



大学だけでは学べない 「医療・社会」を学ぶ

民医連では、将来医師として働くみなさんには、医学はもちろんのこと社会のことまで学び、患者の疾患だけではなく、社会・生活背景まで捉えることが出来る医師になって欲しいと考え、様々な学びのフィールドを準備しています。

KOMSAって？



「九州・沖縄医学生のつどい(Kyushu Okinawa Medical Student Association)」の略称で、九州・沖縄各県の民医連が毎年持ち回りで事務局となり開催しています。例年は現地開催で1泊2日でフィールドワークや懇親会を行っていますが、2020年度は初めてオンラインでの開催になりました(総勢40名以上の学生が参加)。2021年度についても新型コロナウイルス感染症流行がまだ続いているためオンラインでの開催を予定しています(秋:10月頃開催予定)。今回のテーマは「予防医学」です。

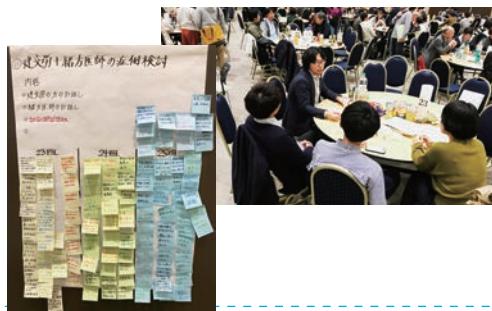
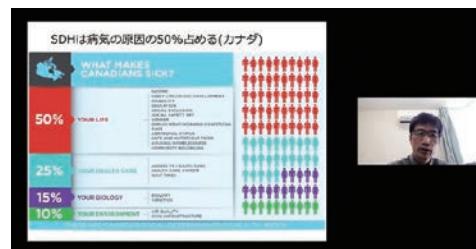
KOMSA2020

「コロナ禍で顕在化した社会問題」をテーマに、各県で事前学習をすすめ、持ち寄り企画(10分程度の学習プレゼン)を作成し、KOMSA本番で学びを共有しました。鹿児島大学では①最後のセーフティーネット「生活保護」、②経済苦、生活苦を抱える人々への取り組み、③離島(奄美)におけるコロナ対応と本土の違いについて調べ発表しました。参加学生からは「今回のKOSMA」を通じて、コロナ禍で苦しんでいる方々に寄り添える医療者になりたい!等の感想が出され、貴重な学びにつながりました。



KOMSA2021

前回のKOMSAは福岡県が主幹県で、テーマ「予防医学」です。開催時期は秋(10月頃)を予定しています。みんなで参加して九州・沖縄の医学生と楽しく交流しましょう！第1回実行委員会は6/19(土)に開催されオンラインで学習しました。



「民医連の医療と研修を考える医学のつどい」は、毎年9月、12月、3月に行われる全国的な医学生企画です。企画内容は医学生が主体となって考案し、医学・医療の枠にとどまらない社会全体の問題にも目を向けたテーマを設定しています。フィールドワークやディスカッションを行いながら、将来の医師像をみんなで語り合う場となっています。

医学生の
つどい

夏期 離島フィールド

夏期離島フィールドは鹿児島民医連の原点である離島医療をじっくり見ることができるフィールドワーク企画です。離島ならではの医療や生活背景をケースワーク(在宅患者の訪問調査)などを通じて学習します。様々なレクリエーションで参加者同士の親睦も深まるだけでなく、現地の人々との交流もできます。離島が好きになつて帰つて来る医学生も多く「またフィールド行きたい！」とリピーターもいます。医学生のうちに一度は離島医療を体験してみませんか？参加したら離島で働きたくなるかも？(2021年は新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないため中止となります)



OSCE学習会 (9月下旬開催予定)

「知り合い同士ではなく緊張感のある空間でOSCEの練習をしてみたい」「実技が不安なので医師からのアドバイスが欲しい」等…。医学生からのご要望に応えOSCE学習会を準備中です。2020年は新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ少人数で開催しました(手指消毒の徹底、アクリル板の設置、レサシアンの使用、オンラインによる医師からの指導…)。2021年も9月下旬を目途に開催準備をすすめていきます。

その他、こんな学習会をやってみたい(心電図を学んでみたい!エコーの実践してみたい!心肺蘇生法学習会をもう一度練習してみたい!)等ございませんか?ご要望に応じて「学習会」の企画開催を準備します。お気軽に鹿児島民医連医学生担当までお問い合わせください。



SNS紹介



Instagram



MINMIN_KGSM



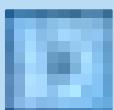
ホームページ <http://kagoshima-min.jp>

鹿児島民医連

検索



鹿児島民医連
ホームページへ
アクセス↑



電話 TEL.099-266-1531

Eメール E-mail:igakusei@kagoshima-min.jp

鹿児島大学 医系学生 サポートセンター

鹿児島民医連では医系学生が日常的に活用でき、実習や大学生活の相談ができる場所として、鹿児島大学医学部近くにサポートセンターを設置しています。自習室として、学習会の場所として、または授業の合間の休憩等に利用できます。

毎週火曜日には「昼食会」を開催していますので、まだ足を運んだことのない方もぜひお気軽にお越しください。

利用環境について

- 医系学生であればどなたでも無料でご利用できます。
- ① Wi-Fi環境が整っており、パソコンやコピー機の利用もできます。テレビをモニターとして学習会会場としても利用できます。
 - ② 医学書や文庫本、研修関係の書類の閲覧ができます。
貸出をご希望の際は担当者までお知らせください。
 - ③ 鹿児島大学医学部の近くにあるので、勉強だけでなく授業の合間の休憩場所としても便利です。



昼食会

毎週火曜日に医学生担当者が手料理をふるまい、医学生の交流の場として昼食会を開催しています。参加費も無料なので友達といっしょに食べに来てください。メニューは毎回変わり、当日来てのお楽しみとなっています。

※感染対策を徹底して開催しますが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、人数制限や開催中止等の対応を取ることがあります。ご了承ください。

感染対策の取り組み

コロナ禍においてもみなさんが安心して利用できるよう、以下の対策(2021年7月時点)に取り組んでいますので、ご利用の際はご協力をお願いします。

- ① 入口での検温と手指消毒
- ② 利用記録簿の記入
- ③ 机にアクリル板を設置(間隔を空けてご利用ください)
- ④ こまめな換気の徹底
- ⑤ 空気清浄機の設置(換気と併せてご利用ください)



LUNCH MEETING



CHRISTMAS MENU



※ 2017年度の様子です。



鹿児島大学
医系学生サポート
センター

鹿児島県鹿児島市
桜ヶ丘8-22-6

お問い合わせ先 | 鹿児島民医連

☎ 099-266-1531

E-mail:igakusei@kagoshima-min.jp

医学生担当：川添・脇・有薗・西田

昼食会のお知らせはこちら!
LINE公式 アカウント



奨学生募集中

月額10万円

私たちの医療活動に共感し、将来ともに働く意志を持った医学生の方を対象に修学の一助として奨学金制度を設けています。

鹿児島民医連の「奨学金制度」は、医師になる夢を持って医学部に合格したみなさんが、アルバイトなど多忙な環境に置かれることなく、学業や学業以外の学びに集中できるよう、医療現場で働く職員や私たちを支えてくれている地域住民（患者さんや医療生協の組合員等）の協力で、医学生を応援する制度として設けられたものです。

「奨学金制度」についてもっと知りたいと思った方は、お気軽に下記の問い合わせ先までご連絡ください（右下のQRコードより鹿児島民医連ホームページをご参照ください）

鹿児島県民主医療機関連合会（医学生担当）
〒891-0141 鹿児島市谷山中央5丁目4-12
電話：099-266-1531 E-mail:igakusei@kagoshima-min.jp



民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひととの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、國民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関・福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療・介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会

発行責任者／鹿児島県民主医療機関連合会

発行日／2021年7月

〒891-0141鹿児島市谷山中央5丁目4-12

TEL.099-266-1531 FAX.099-266-1530

<http://kagoshima-min.jp> E-mail:igakusei@kagoshima-min.jp